

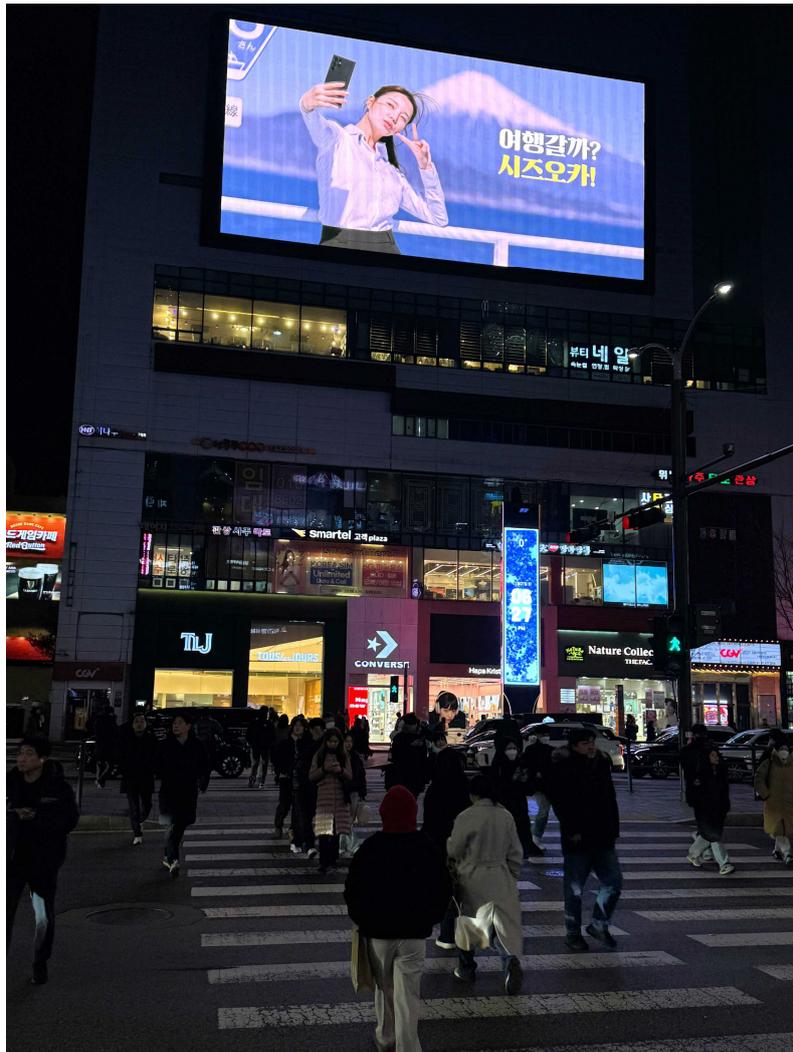
2025.

2

海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

静岡県地域外交局



大型デジタルビジョンを使用した静岡県観光CM(12-1月/ソウルの繁華街・カンナム)

東南アジア

ハノイとバンコクの旅行会社へ訪問営業（ベトナム・タイ）

訪日旅行者急増の影響を受ける日本産品（シンガポール）

中国

中国最大級のメディアで「静岡県」をPR、延べ視聴者数は1億人以上!?

春節(旧正月)で14億人の大移動がスタート！上海市内も祝祭感に包まれる

韓国

年末に起きた務安空港での惨事とその影響

人気K-POPグループ「IVE」のチャン・ウォニョンの冷蔵庫に静岡わさび?!

台湾

フォロワー137万人の台湾人YouTuberを招請、「静岡の美酒・美食」をPR

台北でじわじわと人気 古民家リノベーション施設

東南アジア駐在員報告

駐在員：竹田敏彦

経 済

ハノイとバンコクの旅行会社へ訪問営業（ベトナム・タイ）

1月中旬から下旬にかけて、ハノイ及びバンコクの旅行会社へ訪問営業を行った。以下に、両地域の訪日旅行の現状について紹介する。

まずハノイについて。ベトナムは東南アジアの中で数少ない訪日ビザが必要な国であり、多くの旅行者が旅行会社を通じてビザを取得する。そのため、個人旅行が主流の近隣諸国とは異なり、現地旅行会社への営業が依然として有効な手段となっている。一方で、団体旅行の予算には限りがあり、各社が似たような商品を販売しているのが現状だ。主流のツアーは、東京または大阪発着で、富士山（御殿場プレミアムアウトレットや河口湖エリア）、名古屋泊、京都を巡るルートとなっている。特に安価なツアーでは、東京スカイツリーなどの観光施設も外観を眺めるのみとなるケースが多い。今回、各社へ提案したのは、ゴールデンルート商品の名古屋泊を浜松泊へ変更すること、フラワーパーク等近隣施設の追加、さらに予算に余裕があるインセンティブ旅行向けに伊豆温泉など県内訪問を組み込むことである。春の旅行商品として、既に河津桜やフラワーパークを巡るツアーは販売されているものの、経済発展を続けるベトナムからのさらなる訪問者増加を目指していく。

次にバンコクについて。タイでは訪日旅行者の85%は個人旅行客であり、そのうち8割がリピーターである。そのため、ゴールデンルートのような定番の観光地よりも、新たな訪問先を求める傾向が強い。県内では、富士宮地域の人気が高く、最近では富士市の「富士山夢の大橋」がタイのSNSで話題となった。一方、日本全体では「上高地」がブームとなっており、多くのタイ人がアクセスの難しさをものともせず同地を訪れている。バンコク滞在中、深刻な大気汚染が問題となっており、学校の休校、大型車の通行制限、公共交通料金の無料化などの対策が取られていた。このような状況を背景に、上高地の清涼な環境への関心が高まっている可能性がある。こうした流れを受け、当所では、源兵衛川や柿田川湧水群など、県内の清流にスポットを当てたプロモーションを実施し、さらなる誘客を図る。

経 済

訪日旅行者急増の影響を受ける日本産品（シンガポール）

12月の1か月間、シンガポールのオンライン・プラットフォーム「J Passport」と連携し、静岡フェアを実施した。併せて直売会も開催し、同社の優良顧客約100名に会場いただいた。昨年も同様の事業を展開し、緑茶やハーブティーは定番商品として定着したものの、全体的な売り上げは厳しい状況である。主な要因として、以下の2点が考えられる。

第一に、輸送費などの影響で、日本国内の2倍以上の価格になる商品もあり、高所得層の多いシンガポールにおいても手頃な価格とは言い難いこと。第二に、2024年のシンガポールからの訪日者数が約70万人と記録的な水準に達し、日本を訪れた際に現地で購入の方が安価であることから、シンガポールで日本産品を購入する動機が薄れていること。実際、私の周囲でも多くの方が日本を訪れ、買い物を楽しんでいる。その結果、シンガポールで高価な日本産品を購入することへの心理的なハードルが高まっていると感じる。このような状況ではあるが、引き続きシンガポール市場で求められる県内商品の発掘に努めるとともに、ASEAN各国での販売チャンネル開拓を進めていく。

中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

経 済

中国最大級のメディアで「静岡県」をPR、延べ視聴者数は1億人以上!?

1月8日～13日、中国最大級のメディアであるSMG（上海メディアグループ）のディレクターとカメラマンが静岡県を訪れた。同社では、中国の日本ファン向けに『中日新視界』という日本語の情報番組を放送している。今回は、県上海事務所と連携して静岡県の魅力を紹介する特集番組を制作し、本県の認知度向上とインバウンド誘客に繋げようとの試みだ。

県内では、「静岡県の小学校で上海文化体験」、「富士山の楽しみ方：あなたは陸から？海から？空から？」、「模型の世界都市：徳川家康とプラモデルの意外な関係」の各テーマで取材を行い、1月18日から中国現地での放送がスタートした。県内での取材の様子は中国の東方衛視（全国ニュース）でも報道され、同社によれば、本県報道に係る延べ視聴者数は1億人を超える見込みだという。

番組を見た視聴者からは「東京から見る富士山とは、全く迫力が違う！」など大きな反響が寄せられており、同社は、お茶や温泉をテーマとした続編にも取り組みたいとの意向だ。県上海事務所では、現地での静岡県の更なる認知度向上に向けて、現地メディアとの連携を続けていく。



県内観光地で中国人旅行者にインタビュー

【中日新視界：富士山の楽しみ方(6分18秒)<https://m.kankanews.com/detail/EnwNqK5grQa>】

社 会

春節(旧正月)で14億人の大移動がスタート！上海市内も祝祭感に包まれる

中国では、1月28日から春節（旧正月）の大型休暇が始まった。今年の春節は8連休で、前後の土日と有給休暇を繋げれば最大13連休となることから、国内で交通機関の特別運行が行われる春運（1月14日～2月22日）の期間に、延べ90億人が移動する見通しだ。

中国のオンライン旅行社最大手の携程（C-trip）によれば、春節の海外航空券販売は、日本、タイ、マレーシア、韓国、シンガポール等が好調だという。オンラインで団体旅行を販売する同程旅行は、日本旅行の目的地が東京－大阪のゴールデンルートから地方に戻りつつあるとし、札幌、静岡、福岡の商品販売が好調と紹介している。

例年、こうした「大移動」が注目される春節だが、上海の地元っ子や駐在員など「居残組」の年越しの様子にも触れてみたい。旧正月の大晦日(1月28日)は、日本の紅白歌合戦にあたる『春節聯歡晩会』を見ながら家族や友人と食卓を囲む。年越しの人気番組は20時からスタートし、北京の主会場や、重慶、ラサ、武漢と中継を結びながら祝祭感を伝えていく。そして番組が最も盛り上がるのが午前0時の年越しだ。上海市の中心部は、環境保護を理由に花火や爆竹の使用が禁止されているものの、テレビから目を離すと市郊外から花火が打ち上がるのが見える。中国駐在員にとっては、元旦以上に新年の訪れを感じる瞬間だ。

2024年12月、春節は「家族の価値や社会の結束を高め、中国の人々にアイデンティティの感覚を与える」と評価され「ユネスコ無形文化遺産」に登録された。旅行組、帰郷組、居残組と形は違えども、現地は、家族と新年を迎えようとする「祝祭感」に包まれている。

韓国駐在員報告

駐在員：高橋 誠

経 済

年末に起きた務安空港での惨事とその影響

昨年末、12月29日に朝鮮半島の南西部、全羅南道の務安空港で起きたチェジュ航空機の事故は、乗員乗客181人中乗員2名を除き179人が亡くなるという世界中に衝撃を与えた航空機事故となった。事故原因は今でも完全には明らかになっていないし、専門家ではないためそれに触れることはここではしないが、多くの韓国人、さらにはチェジュ航空を含む韓国のLCC（格安航空会社）を利用する日本人に大きな不安を与えたことは間違いないだろう。

富士山静岡空港への韓国人のインバウンド誘客を担う当所としては、チェジュ航空の同形機が飛ぶ静岡ソウル線の乗り控えやキャンセル増加を心配していたが、今のところそれほど極端な影響はないと言っても良いだろう。

事故直後の12月29日から1月5日までの実績集計（比較可能な午後便のみ）では、搭乗率昨年比マイナス4%と、若干のマイナスは事故の影響があったかもしれないが、年未年始ということもあり80.8%の搭乗率をキープした。また、1月はもともと閑散期であるため、特別搭乗率が良いとは言えないものの、旧正月連休が6連休、31日金曜を休めば9連休になるということもあり、まだ最終的な搭乗実績は出ていないが、関係者に聞いたところでは、予約率はそれほど悪くないとのことだった。

一方、チェジュ航空は1月初旬から3月末までの約3か月間、国際線1,040便、国内線838便計1,878便（片道基準）の減便を実施した。多くの日本路線を運航する同社は当然日本路線も減便したが、代替便のない静岡は減便を免れた。東京、大阪、福岡、札幌など他社の代替便がある大型空港が減便の対象となったわけである。

また、LCCのチェジュ航空が事故を起こしたことで、他社LCCにも悪影響を及ぼすのではと言われていたが、1月中旬頃の状況としては、チェジュ航空を忌避する乗客が他社に流れるため、むしろ状況が良いという声も聞こえた。一方でパッケージ旅行を販売する旅行会社には、チェジュ航空のみならず、LCCを利用する旅行商品への影響がはっきりと表れていたようだ。大手のハナツアー、モドゥツアー、VERY GOOD TOURなどの担当者によると、キャンセルやそれに関する問合せが多く届いているとのことだった。

とはいえ、ほとんどのケースでは安全に運航されている。私自身、1月に仕事でもプライベートでもチェジュ航空を利用したが、雪が舞い難しい日でも安心のフライトだった。ところが、今度は1月28日、金海空港でエアプサン機の火災事故が発生し（死傷者は無し）、韓国ではまだ燻っていたLCCへの不安が再燃しそうな空気もある。影響は今後も引き続き見守るしかないのだが、LCC各社の早期の信頼回復と安定運営を願っている。

社会・時事

人気K-POPグループ「IVE」のチャン・ウォニョンの冷蔵庫に静岡わさび？！

韓国JTBCの人気芸能番組「冷蔵庫をください」の1月19日放送回には、日本でも大人気のK-POPガールズグループ「IVE」のチャン・ウォニョンが出演した。同番組ではゲストの冷蔵庫にあるものだけを使って、二人のシェフが料理をするのだが、今回、チャン・ウォニョンの冷蔵庫がテレビに公開されると、そこには何と日本のわさびが並べられており、中には田丸屋本店（静岡市）の「本わさび瑞葵」「静岡ザク切り本わさび」、カメヤ食品（三島市）の「おろし生わさび」が！「地域が違うんです」とウォニョン氏。何とありがたいPRだ。

台湾駐在員報告

駐在員：市川 美奈子

行政

フォロワー137万人の台湾人 YouTuber を招請、「静岡の美酒・美食」をPR

12月19日～22日、弊所は3市1町広域観光連携協議会（島田市、焼津市、藤枝市、川根本町）と連携し、台湾人 YouTuber の JAMES 氏を本県に招請した。

JAMES 氏は台湾で活躍するタレントで、シェフであり番組司会者でもある。YouTube などの SNS でおいしい料理やお酒について日々情報発信をしており、彼のチャンネルには137万人のフォロワーがついている。フォロワーは20代から40代が多く、男女比はほぼ半々だ。弊所では彼の得意分野を活かして、「静岡の美酒・美食」をテーマとして本県をPRすることにした。

同事業の連携先である3市1町広域観光連携協議会や、地域産業課・観光振興課など庁内各所の協力を得て、焼津市の磯自慢酒造などで実際の酒造りの様子を見学させてもらった。

取材に訪れた12月下旬は、折しも「日本の伝統的酒造り」がUNESCOの無形文化遺産に登録されたばかりのタイミング。普段なかなか目にすることができない「無形文化遺産」を目の当たりにした JAMES 氏は興味津々で、酒造の担当者にいくつかの質問をしていた。

本事業はYouTube 動画としてアップされているほか、JAMES 氏のインスタグラムでも配信されている。個人観光客の割合が年々高まっている台湾市場において、本県の魅力を、さまざまな切り口から発信していきたい。



【磯自慢酒造見学の様子】

経済

台北でじわじわと人気 古民家リノベーション施設

1月8日、台北市内の商業施設で、富士山と玉山をテーマにした日台交流イベントが行われた。日本からは富士宮市や御殿場市の関係者が登壇し、富士山の歴史や文化などを紹介した。台湾からは玉山や阿里山の関係者がそれぞれの山の魅力を紹介した。

同イベントが行われた商業施設「0km 山物所」は、2024年3月、民間事業者が日本統治時代の林務局の宿舎をリノベーションして誕生したものだ。台北市政府文化局は2013年から「台北老房子（古民家）文化運動計画」という政策を進めており、日本統治時代に建てられた官舎や工場が、官民連携によって商業施設や飲食店として生まれ変わっている。同政策によってリノベーションされた「0km 山物所」は「台湾初の『山系』コンセプトの商業施設」を謳っており、山や自然をテーマにしたブランドが多い。富士山や自然をテーマにした今回のようなイベントを開催するにはうってつけの場所だと感じた。

同じく民間事業者のリノベーションによって再生した施設に、MR T淡水信義線圓山駅の向かいにある「おでん円山駅」がある。元圓山駅の宿舎として築100年以上の歴史を誇るこの建物は、2024年7月におでん専門店としてオープンした。「おいしいおでんが食べられて、インスタ映えもする場所」として、流行に敏感な台北市民で賑わっている。

台北にはこのようなリノベーション施設が多数存在している。台北に来られた際には是非訪れてみては。



【おでん円山駅】

静岡県 海外駐在員事務所

●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	http://shizuoka.sg/		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	http://www.shizuokash.com		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	http://shizuokaseoul.com/ https://blog.naver.com/goshizuoka		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	http://www.shizuoka.org.tw/		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

<日本での連絡先>

静岡県 地域外交局 地域外交課
 住所：静岡市葵区追手町 9-6
 電話：054-221-2572 FAX：054-221-2542
 E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp